

がん対策に関するアンケート調査について

令和5年2月 山梨県福祉保健部健康増進課

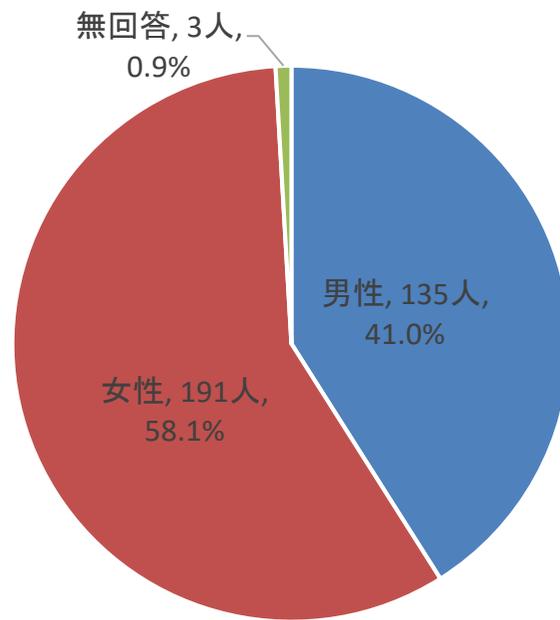
<アンケートの概要>

アンケート名	がん対策に関するアンケート調査	
1 調査目的	がん検診受診率の実態把握や、県のがん対策に関する県民の皆様の認知度等を把握し、より一層充実したがん対策を推進するため、アンケートを実施しました。	
2 実施時期	令和4年9月	
3 調査対象	県政モニター18歳以上	
	(1)一般モニター	330人
	(2)インターネットモニター	68人
4 有効回答数	331(有効回答率 83.1%)	
	(1)一般モニター	288人
	(2)インターネットモニター	43人
5 集計について	アンケートは25問用意し、最後の問25ではがん対策について自由意見の記述を求めました。有効な回答を得られなかった回答については、無回答として示しました。	

アンケート結果は、次のとおりです。

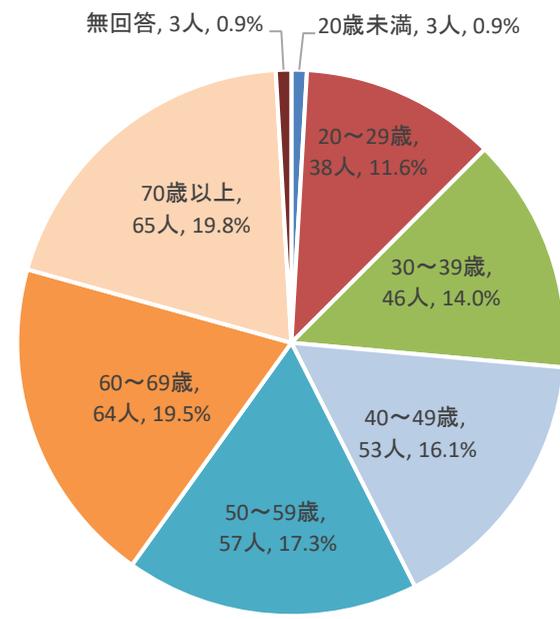
問1 あなたの性別は

回答者数329人



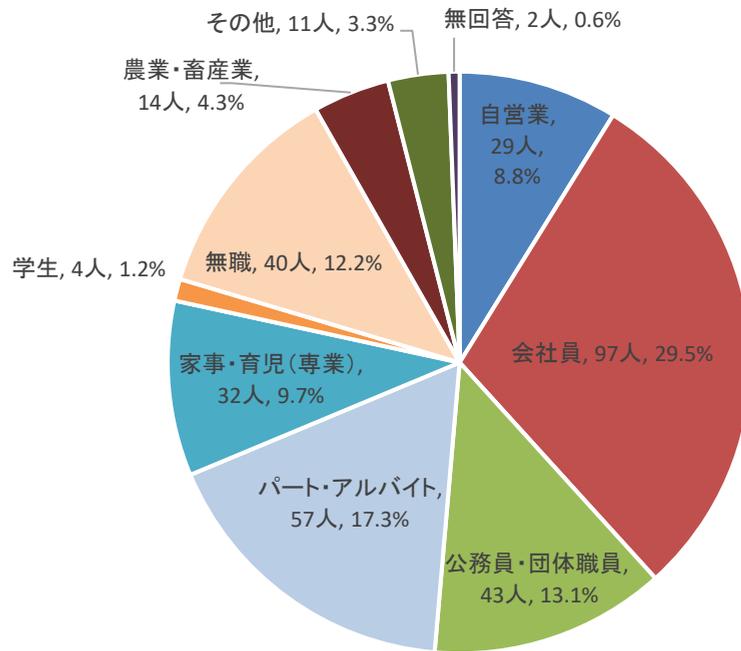
問2 あなたの年齢は

回答者数329人



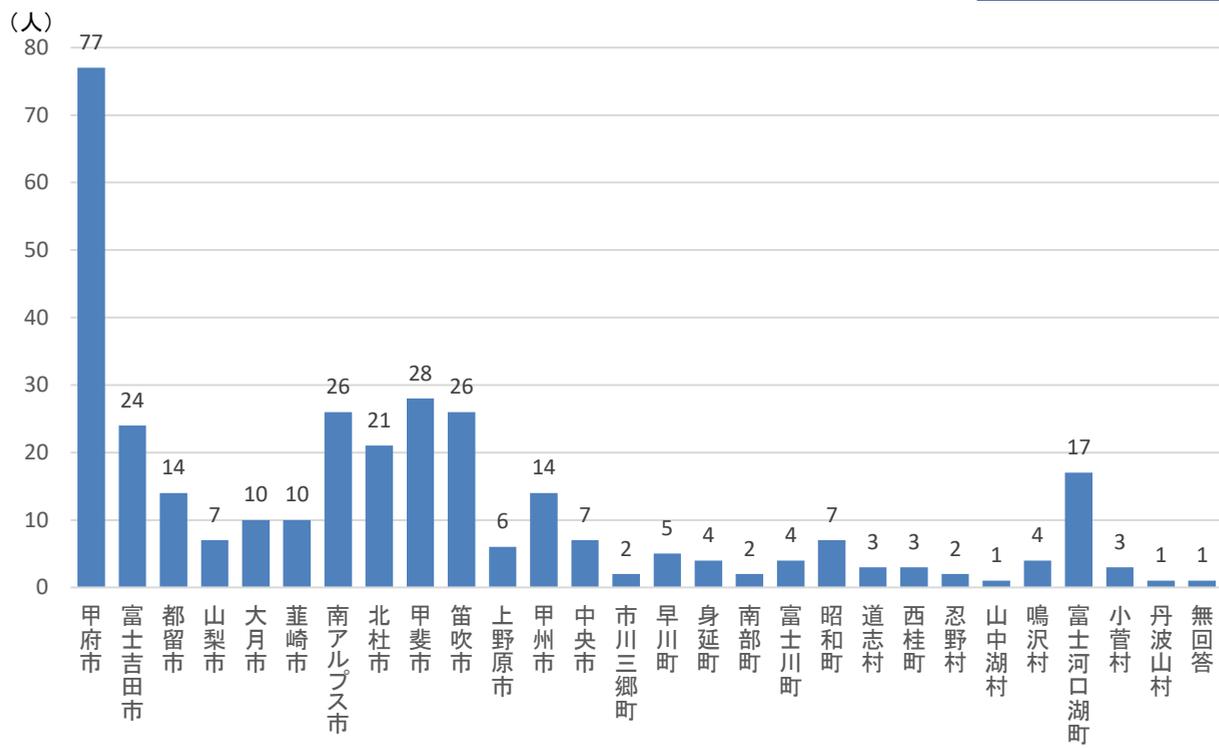
問3 あなたの職業は

回答者数329人



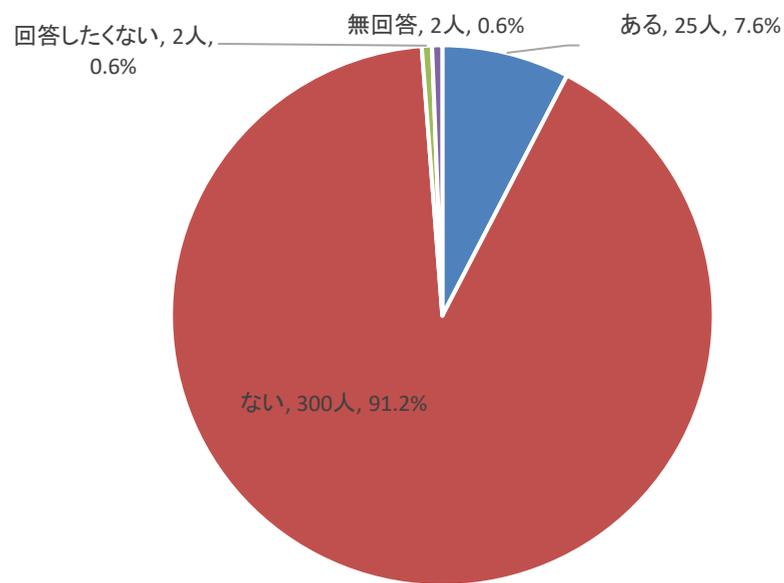
問4 あなたがお住まいの市町村は

回答者数329人



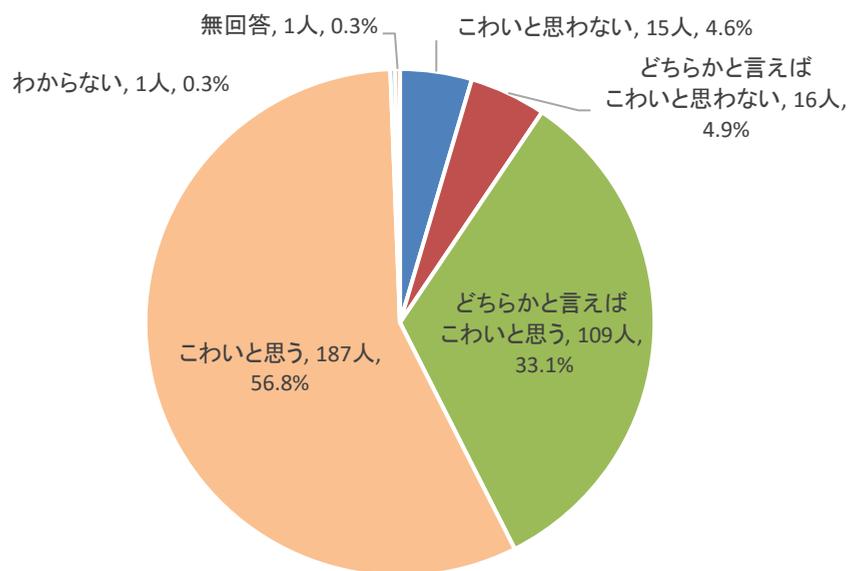
問5 あなたは、「がん」と診断されたことがありますか

回答者数329人

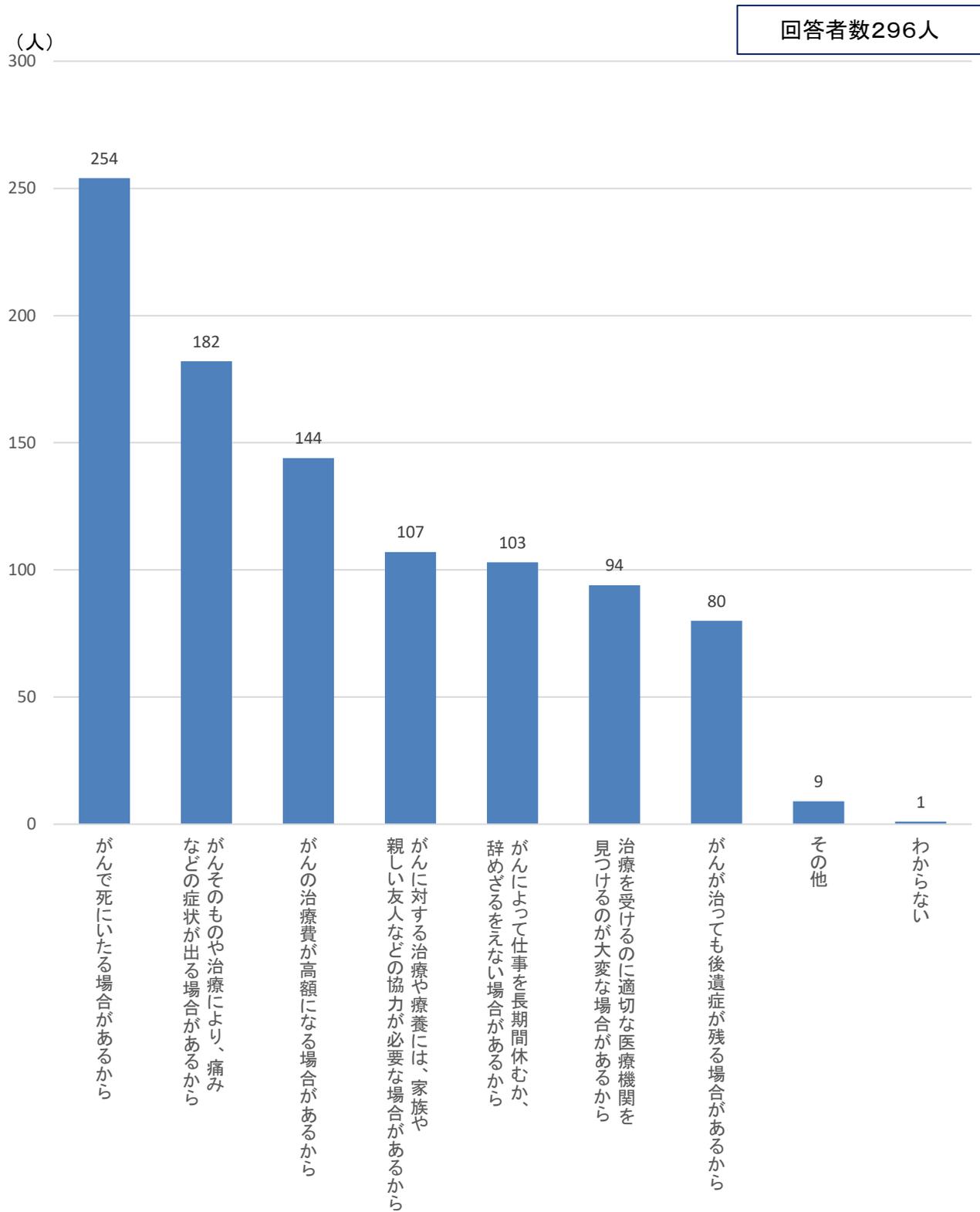


問6 あなたは、がんについてどのような印象をお持ちですか。最も近いものを選んでください。(1つ選択)

回答者数329人

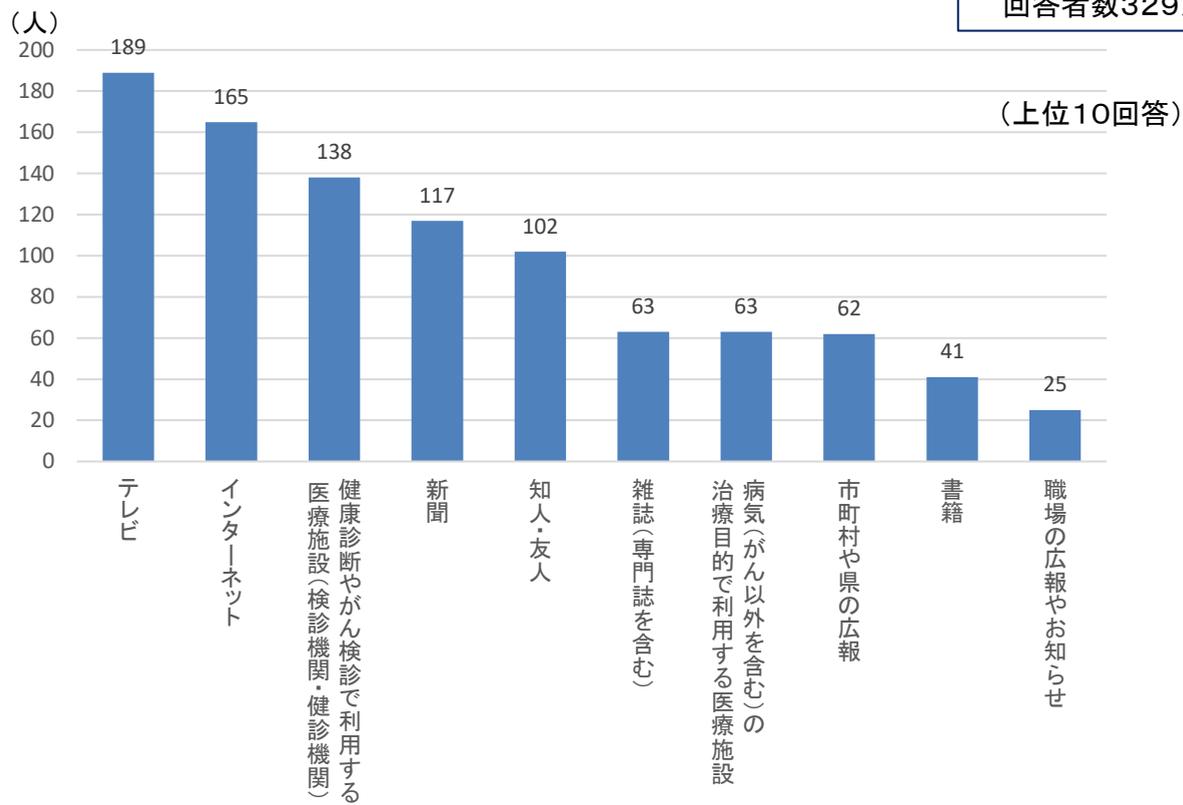


問7 問6で「どちらかと言えば怖いと思う」「こわいと思う」と答えた方にお聞きします。あなたが、がんをこわいと思う理由をお答えください。(複数回答可)



問8 あなたは、がんの予防や検診、治療など、がんに関する一般的な情報について、どのようなところから情報を得ていますか。(複数回答可)

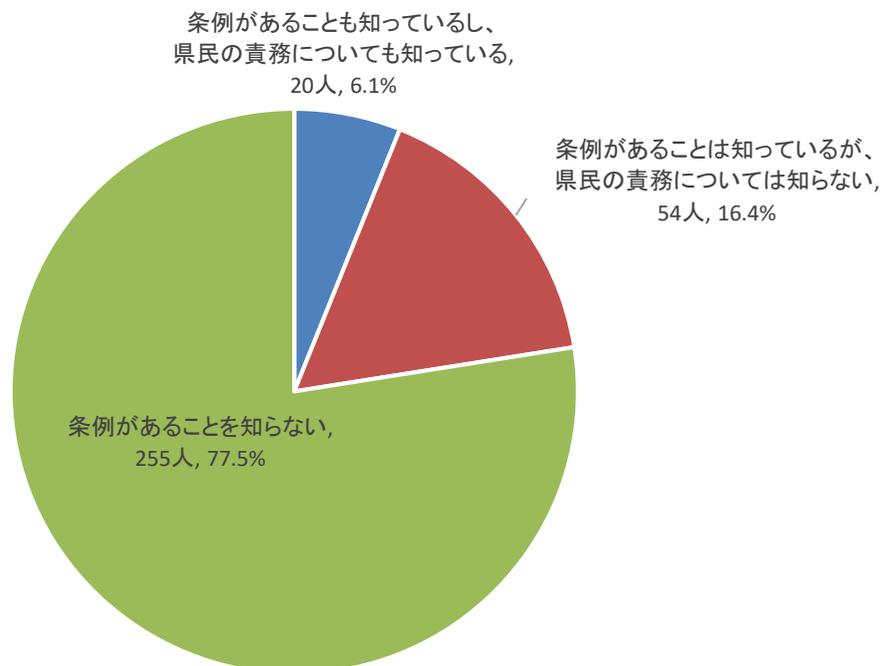
回答者数329人



問9 「山梨県がん対策推進条例」(平成24年4月1日施行)には、「県民は、喫煙、食生活、運動その他の生活習慣が健康に及ぼす影響等がんに関する正しい知識を持ち、がんの予防に必要な注意を払うとともに、がん検診を積極的に受けるよう努める」と、県民の責務が規定されていますが、あなたは、そのことを知っていますか。

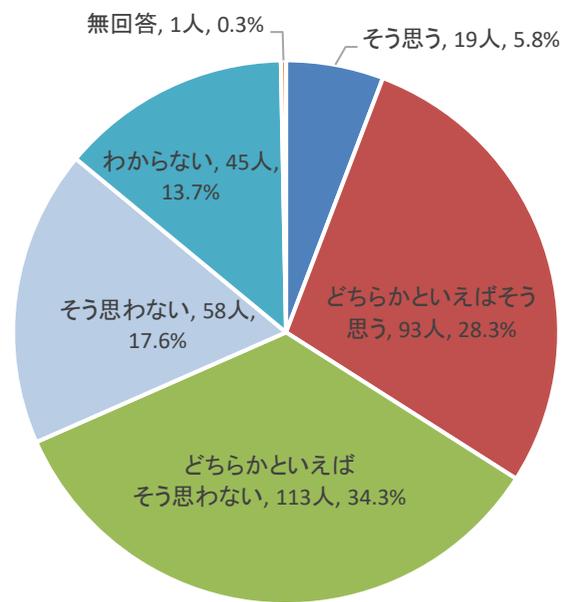
(1つ選択)

回答者数329人



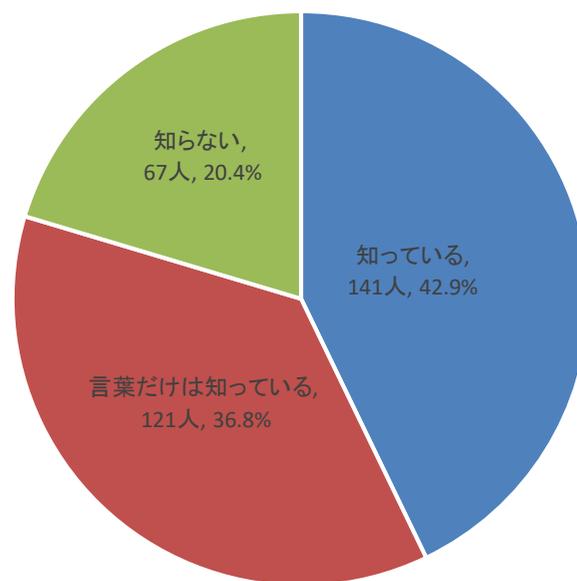
問10 がんの治療や検査のために2週間に一回程度病院に通う必要がある場合、現在の山梨県の社会状況(職場環境や周囲の理解)では、働き続けられると思いますか。(1つ選択)

回答者数329人



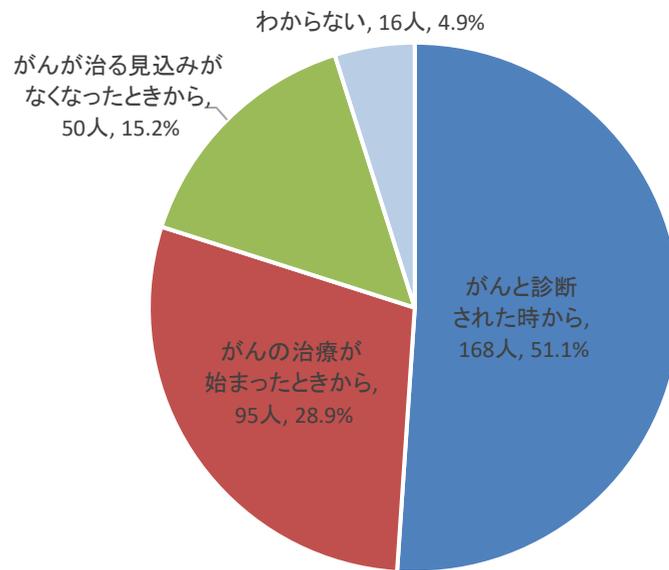
問11 あなたは、がん医療における緩和ケアについて知っていますか。(1つ選択)

回答者数329人



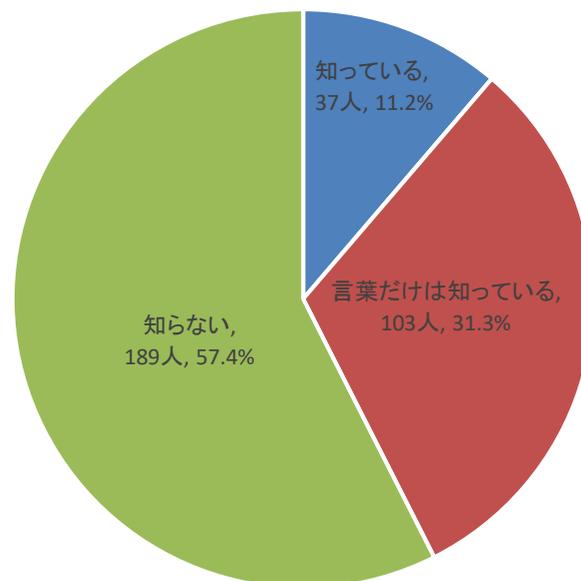
問12 あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。
(1つ選択)

回答者数329人



問13 あなたは、「がんゲノム医療」について知っていますか。(1つ選択)

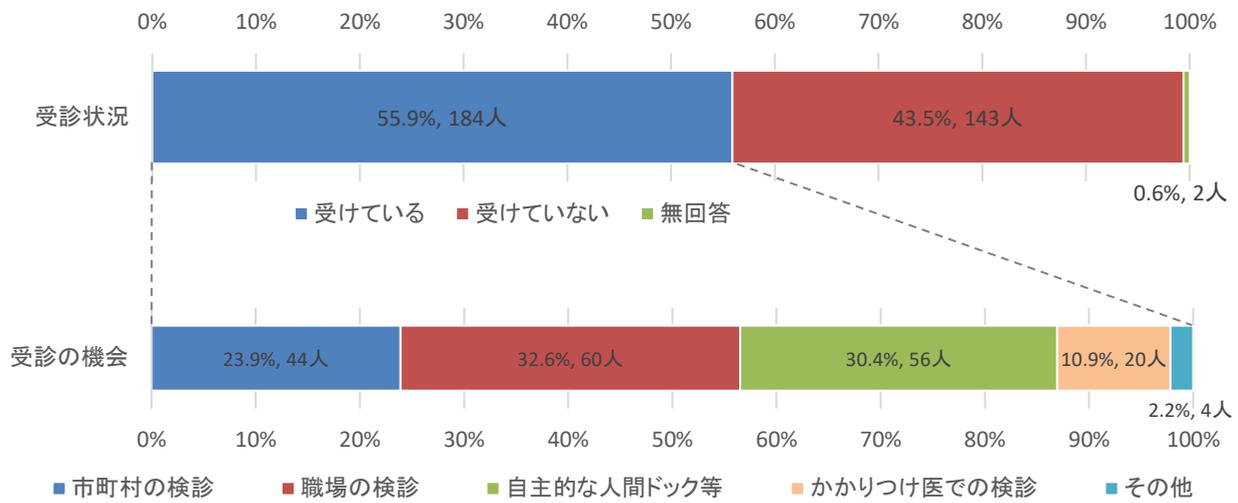
回答者数329人



問14 あなたは、国が指針を定めている次のがん検診について、定められた期間内に受診しましたか。何の機会に受診したのかも含めてお答えください。

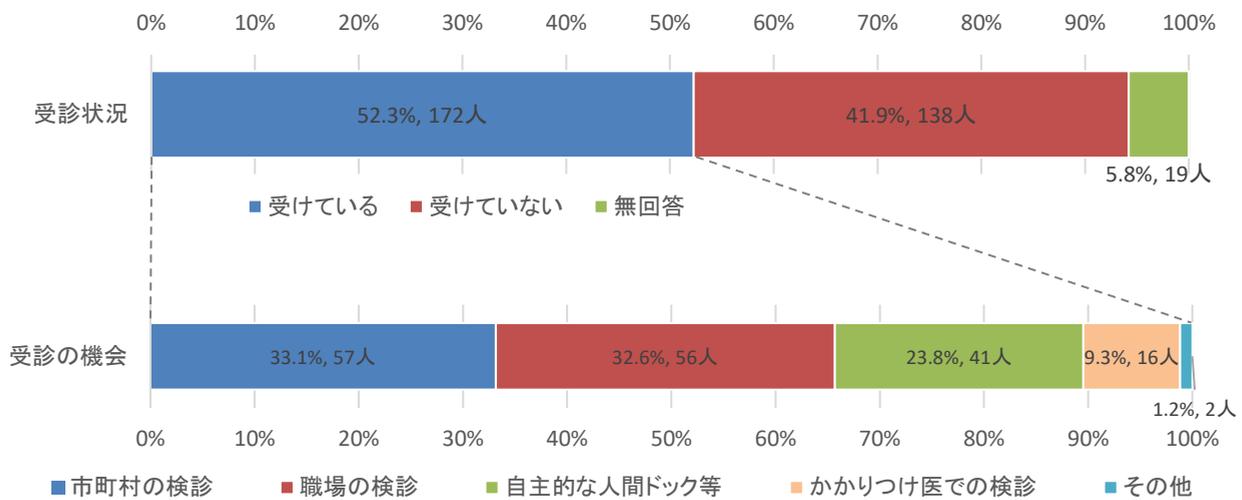
【胃がん検診】

回答者数329人



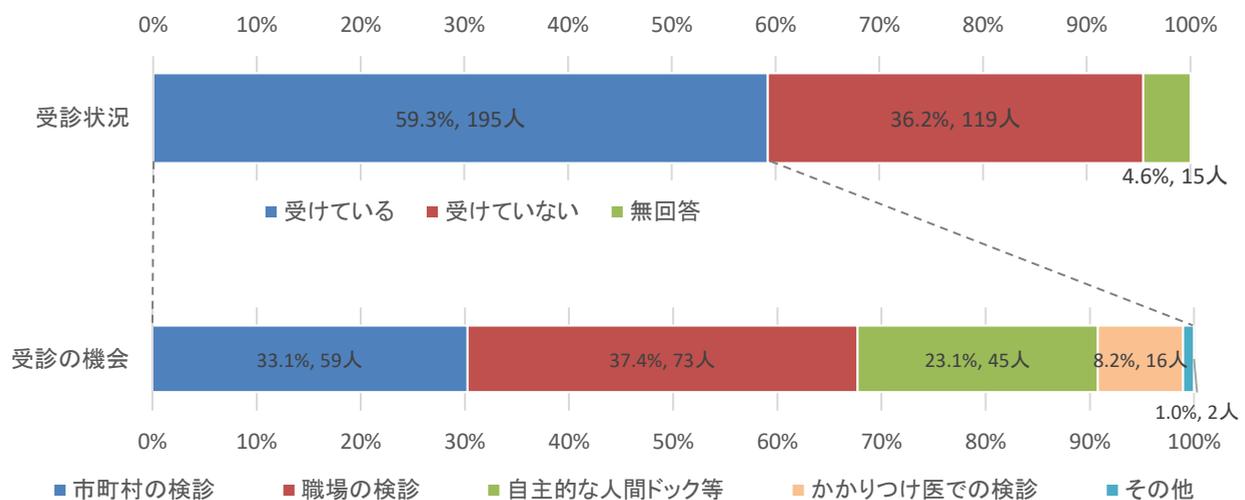
【肺がん検診】

回答者数329人



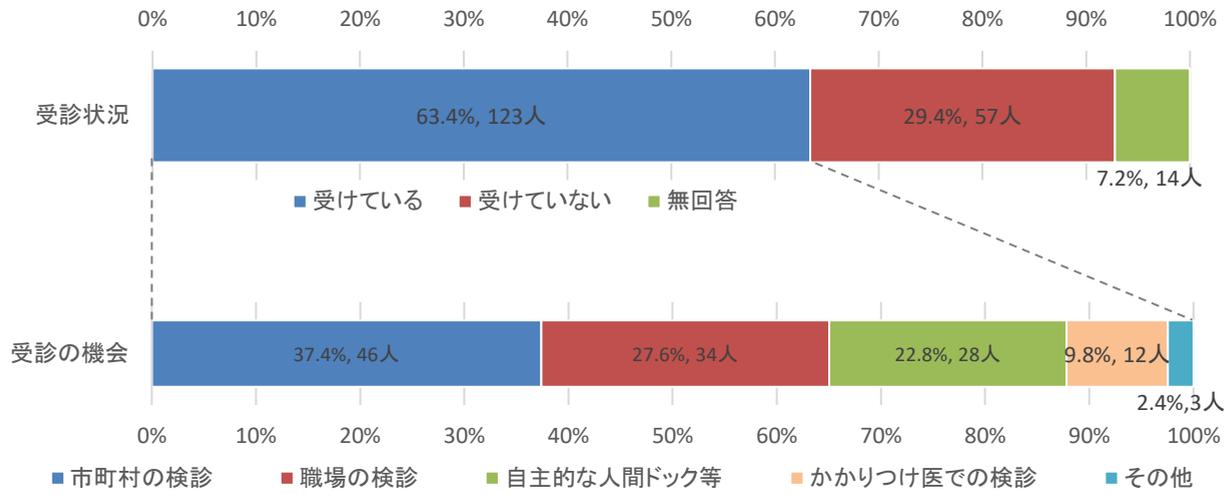
【大腸がん検診】

回答者数329人



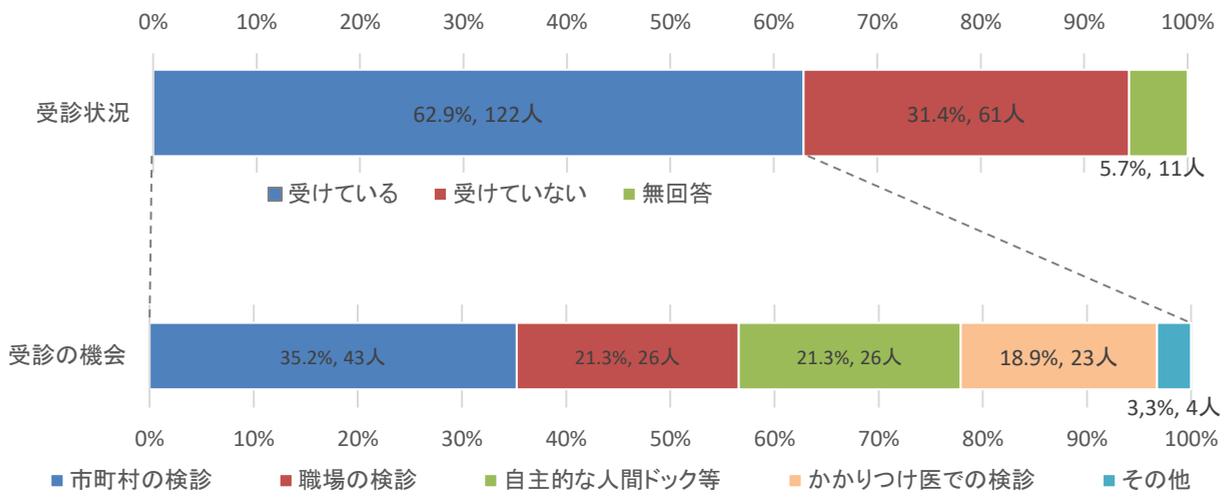
【乳がん検診】

回答者数194人



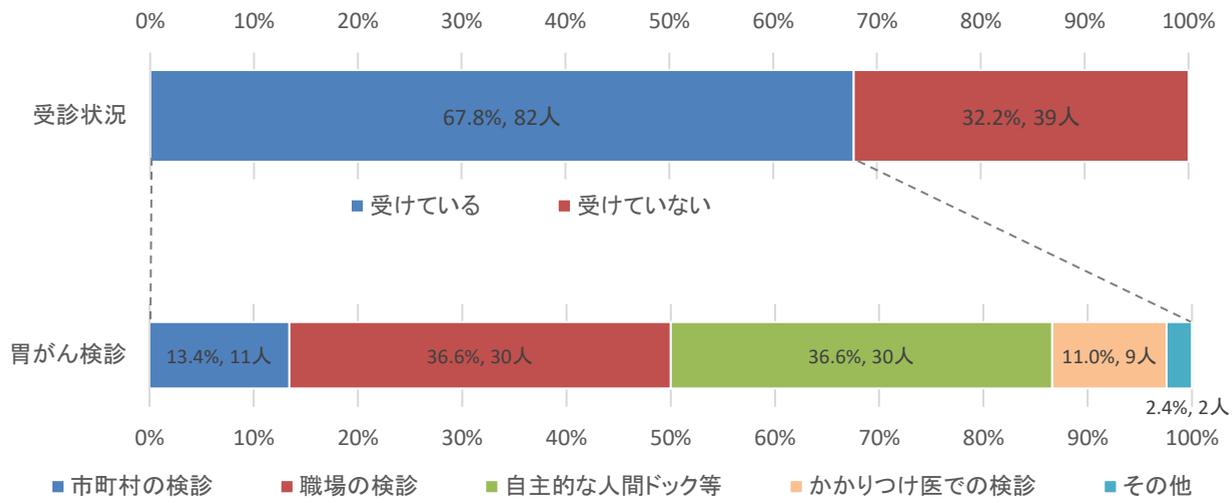
【子宮頸がん検診】

回答者数194人



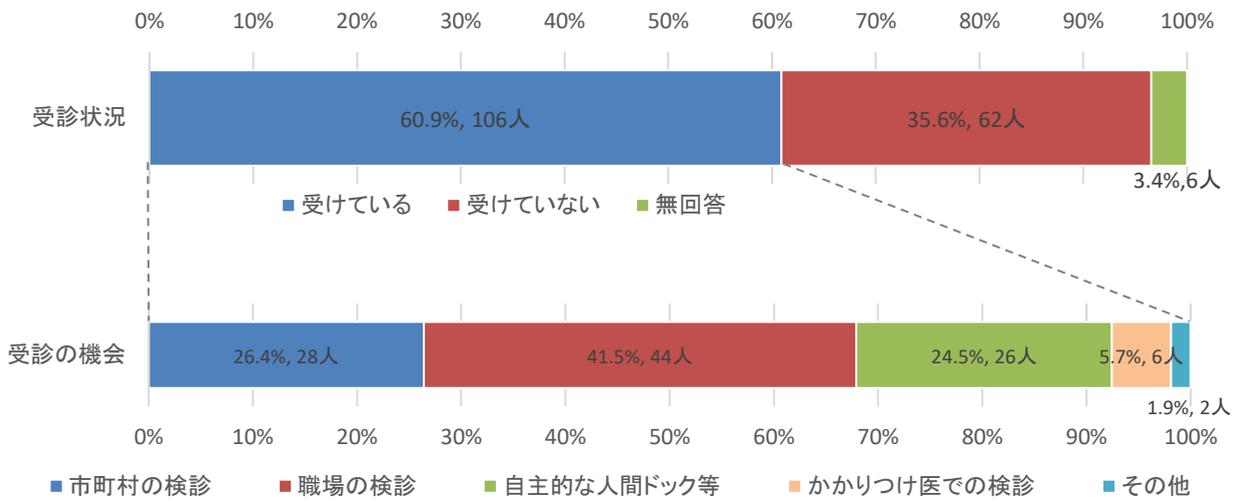
【胃がん検診】 ※対象年齢(50～69歳)の回答のみを集計

回答者数121人



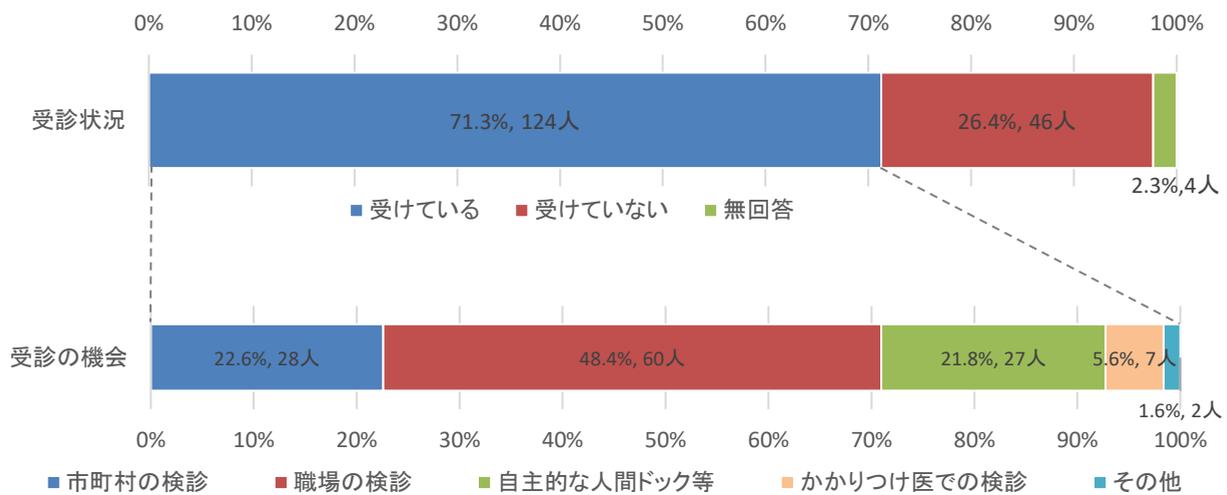
【大腸がん検診】 ※対象年齢(40～69歳)の回答のみを集計

回答者数174人



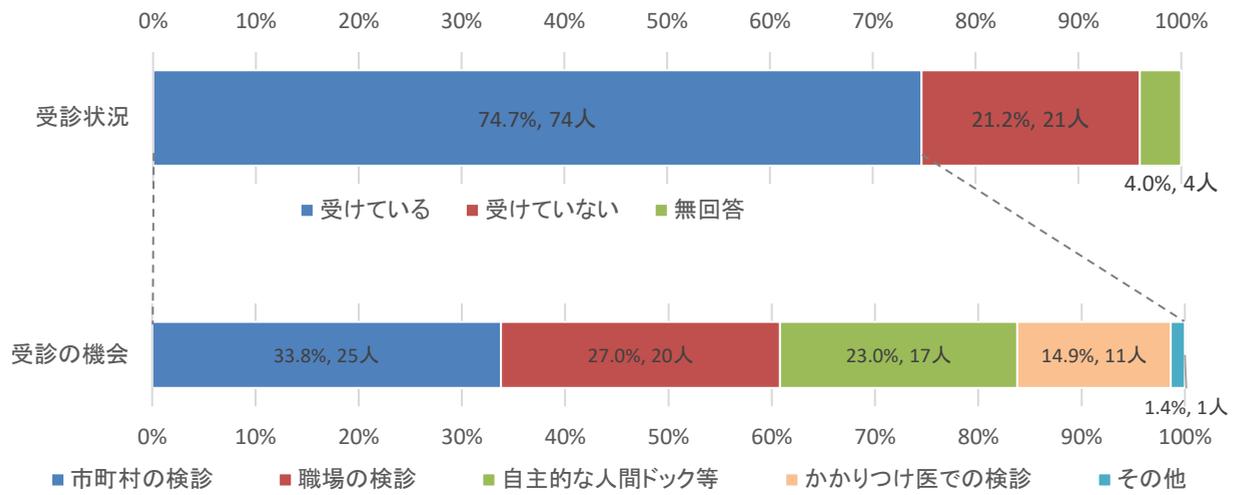
【肺がん検診】 ※対象年齢(40～69歳)の回答のみを集計

回答者数174人



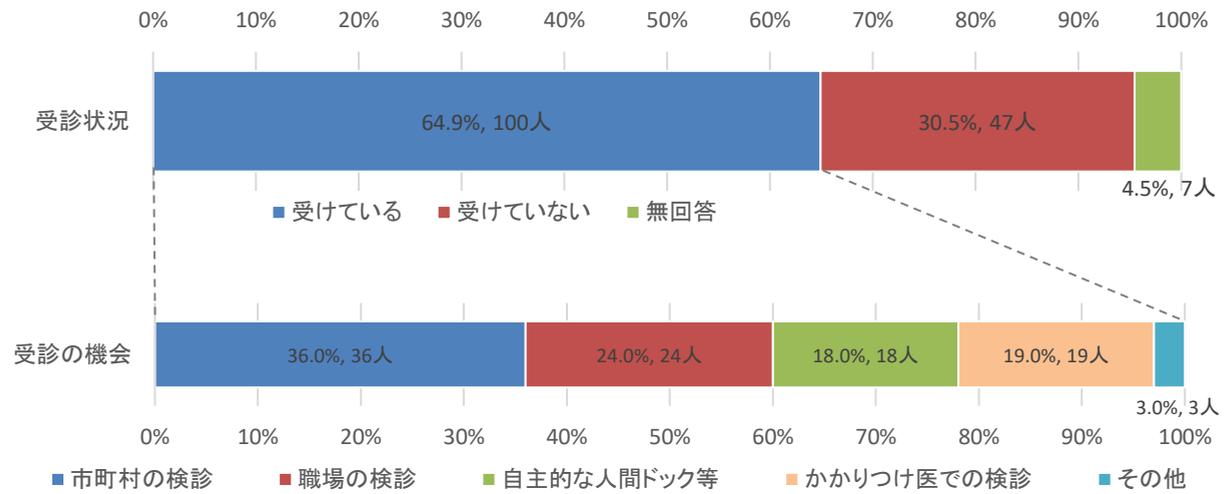
【乳がん検診】 ※対象年齢(40～69歳)の回答のみを集計

回答者数99人



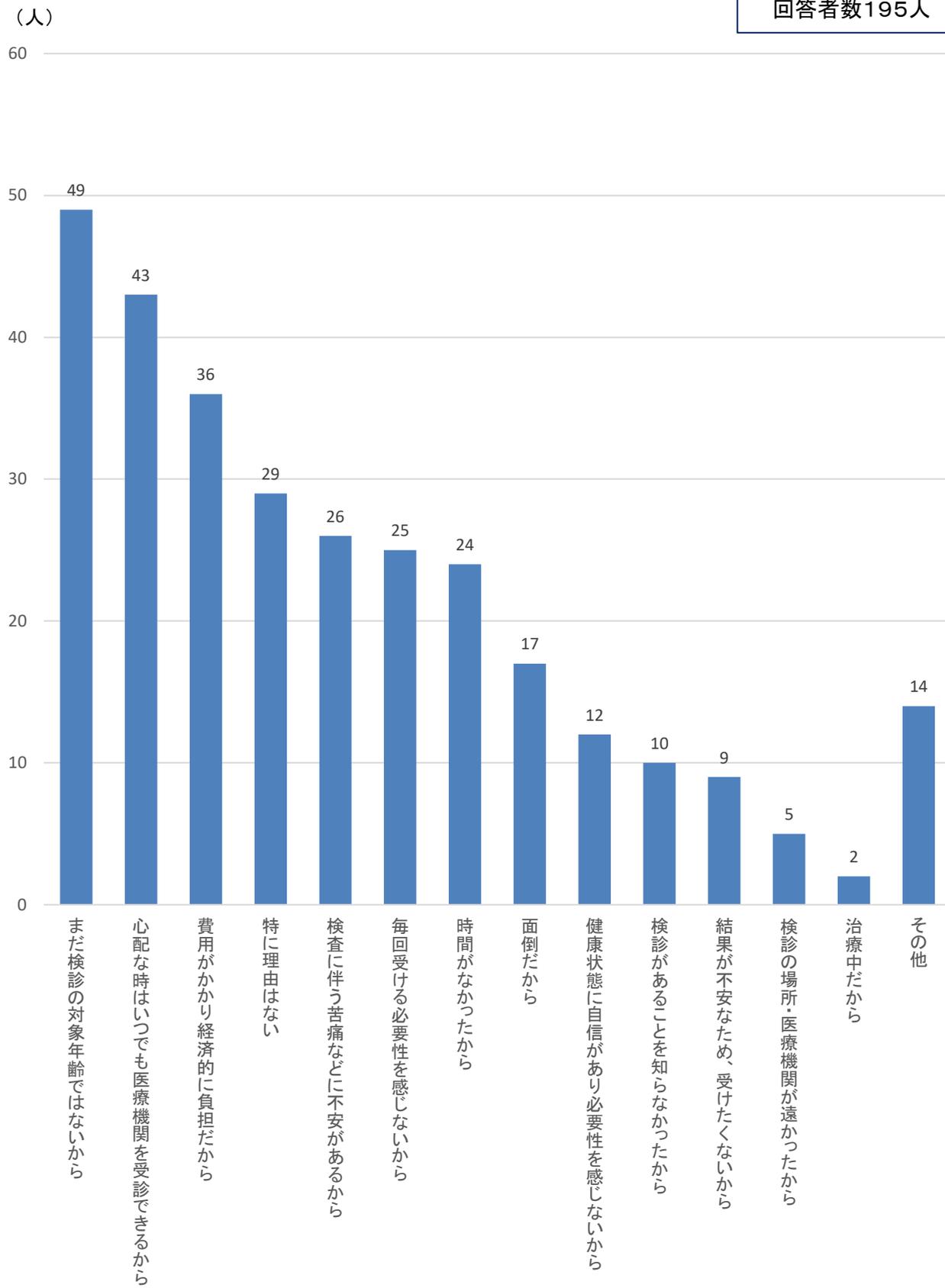
【子宮頸がん検診】 ※対象年齢(20～69歳)の回答のみを集計

回答者数154人



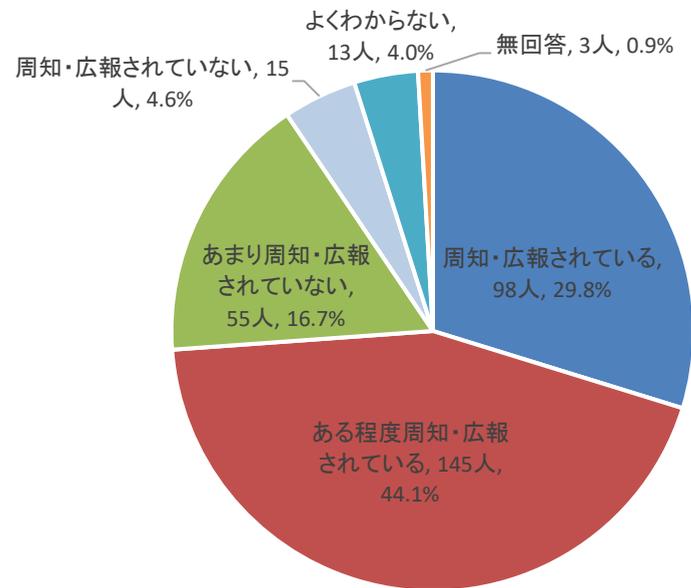
問15 問14で「(がん検診を)受けていない」がひとつ以上ある方におたずねします。
受けなかった理由は何ですか。(複数回答可)

回答者数195人



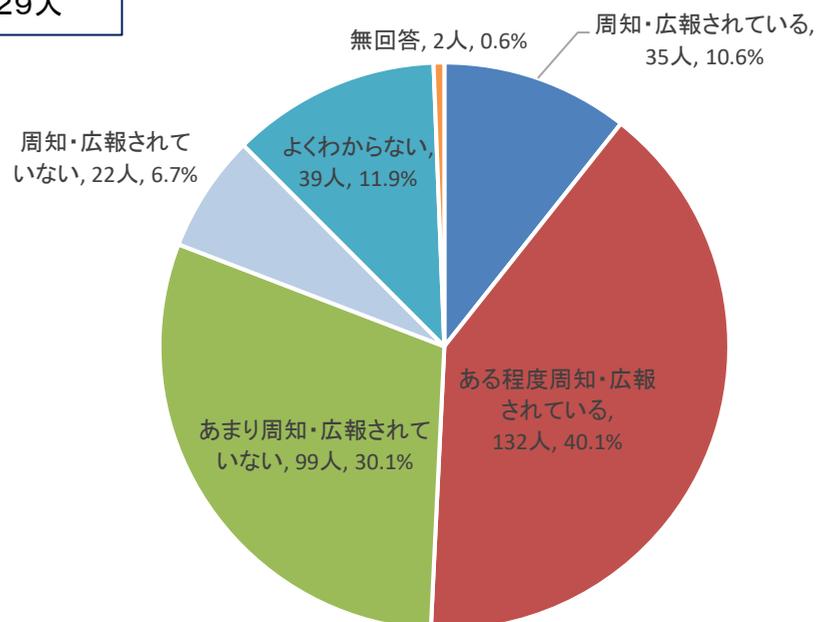
問16 市町村が実施するがん検診では、各市町村において住民に対する受診案内や受診に関する普及啓発活動が行われていますが、十分に周知・広報されていると思いますか。(1つ選択)

回答者数329人



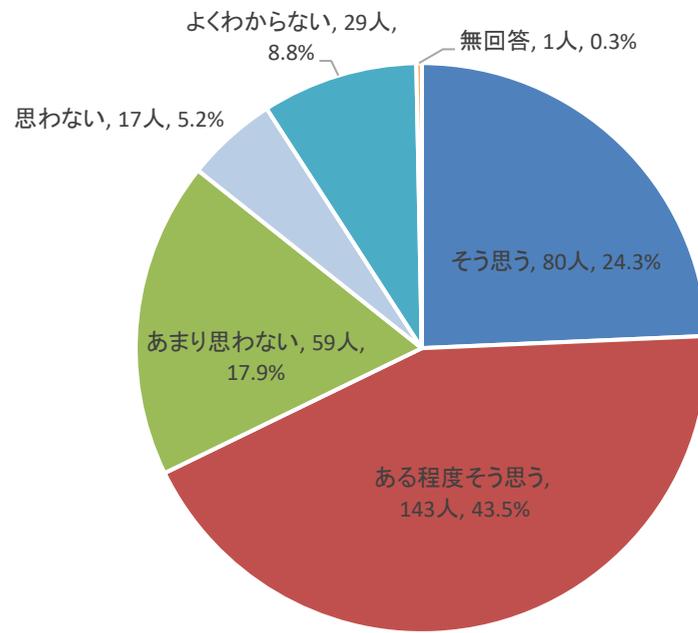
問17 県では、がん検診受診率向上を目的とした普及啓発活動を行っていますが、県の活動は十分周知・広報されていると思いますか。(1つ選択)

回答者数329人



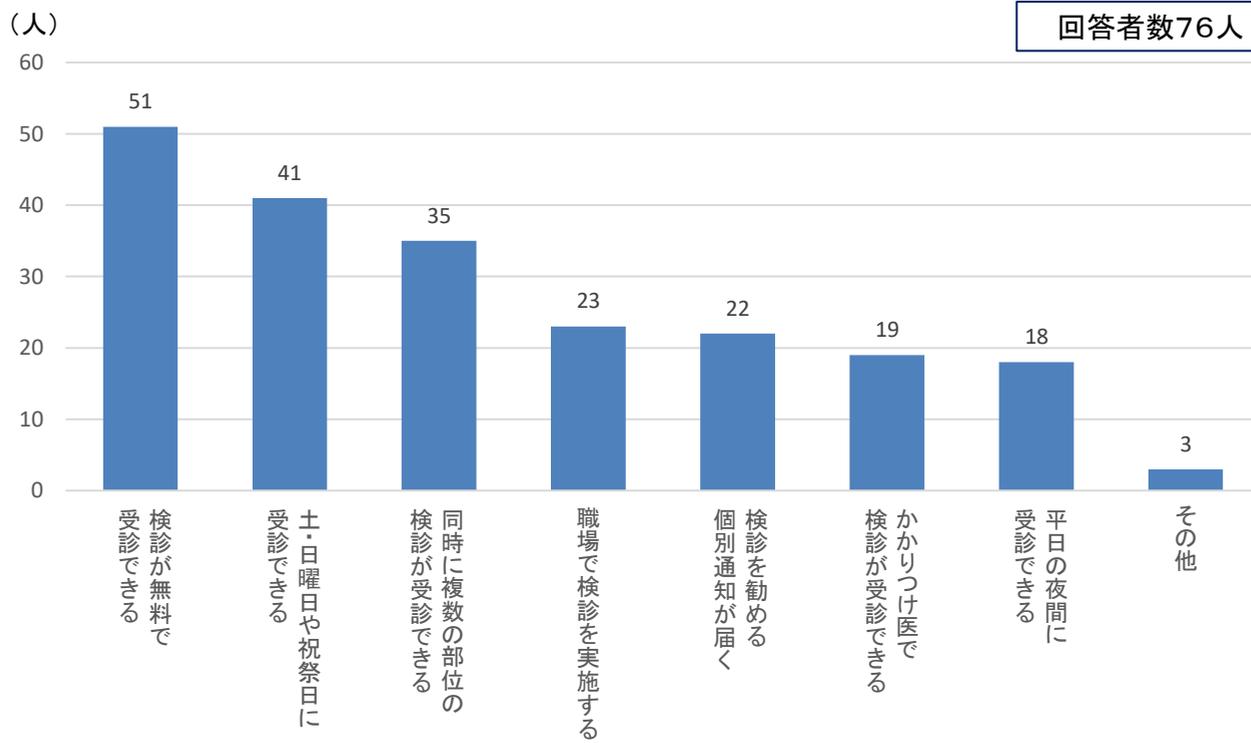
問18 あなたは、市町村や職場等が実施するがん検診について、受診しやすい体制(受診しやすい会場・医療機関、時間帯等)になっていると思いますか。(1つ選択)

回答者数329人



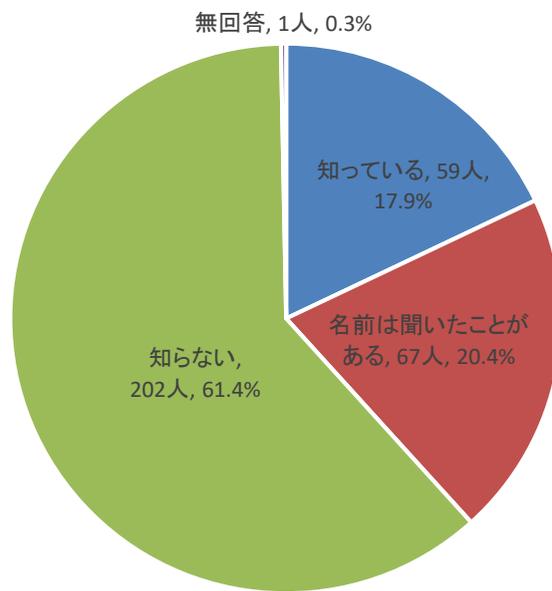
問19 問18で、「あまり思わない」及び「思わない」と回答した方におたずねします。どうしたらもっと検診が受けやすくなると思いますか。(複数回答可)

回答者数76人



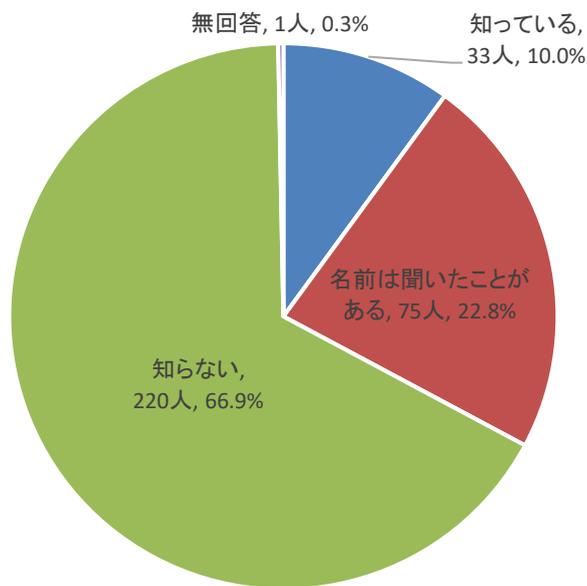
問20 あなたは、県内に「がん診療連携拠点病院」や「地域がん診療病院」があることを知っていますか。(1つ選択)

回答者数329人



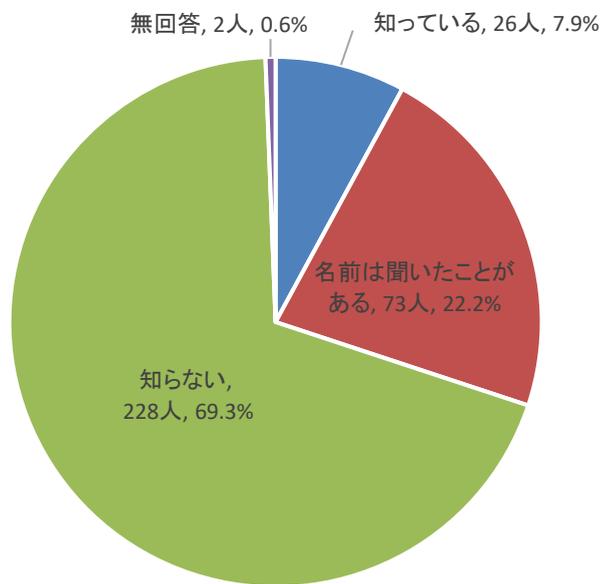
問21 あなたは、県内に「がん相談支援センター」があることを知っていますか。(1つ選択)

回答者数329人



問22 あなたは、県内に「山梨県がん患者サポートセンター」があることを知っていますか。
(1つ選択)

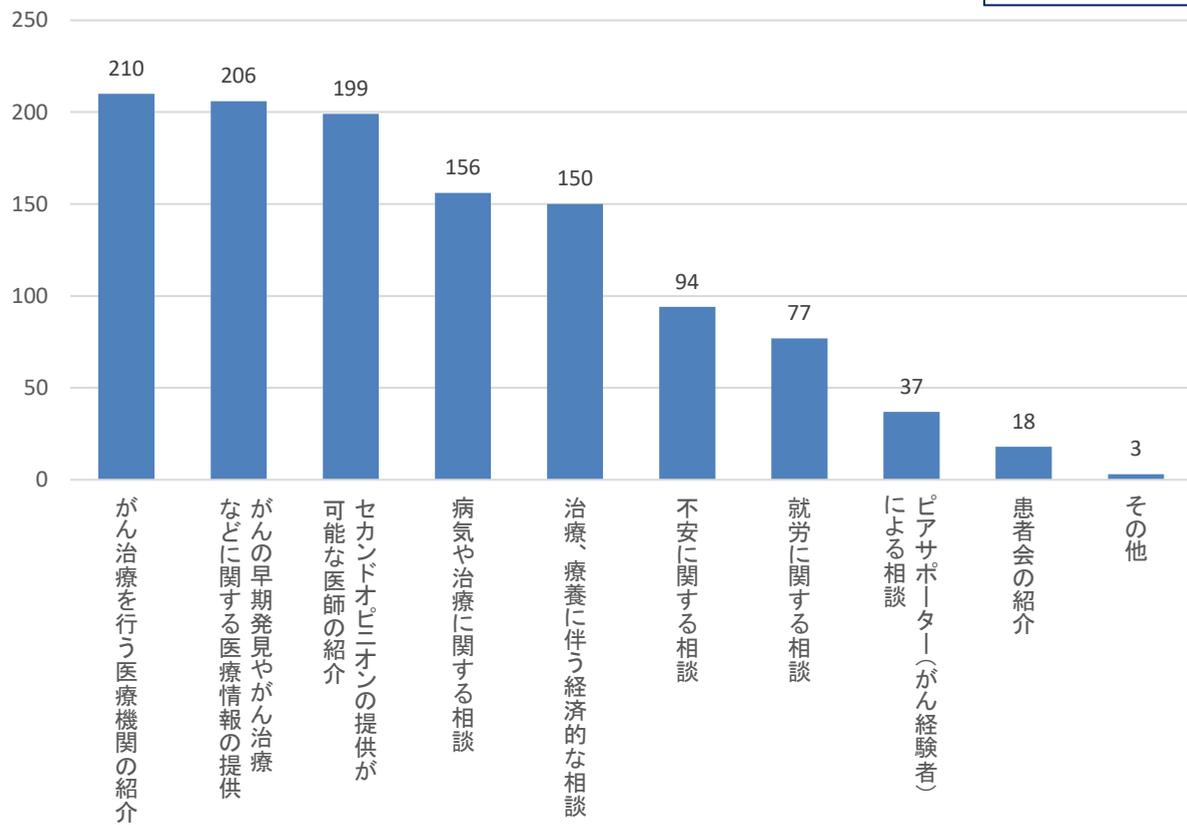
回答者数329人



問23 がんに関する相談支援において、あなたが充実させてほしいと思う内容は何ですか。
(複数回答可)

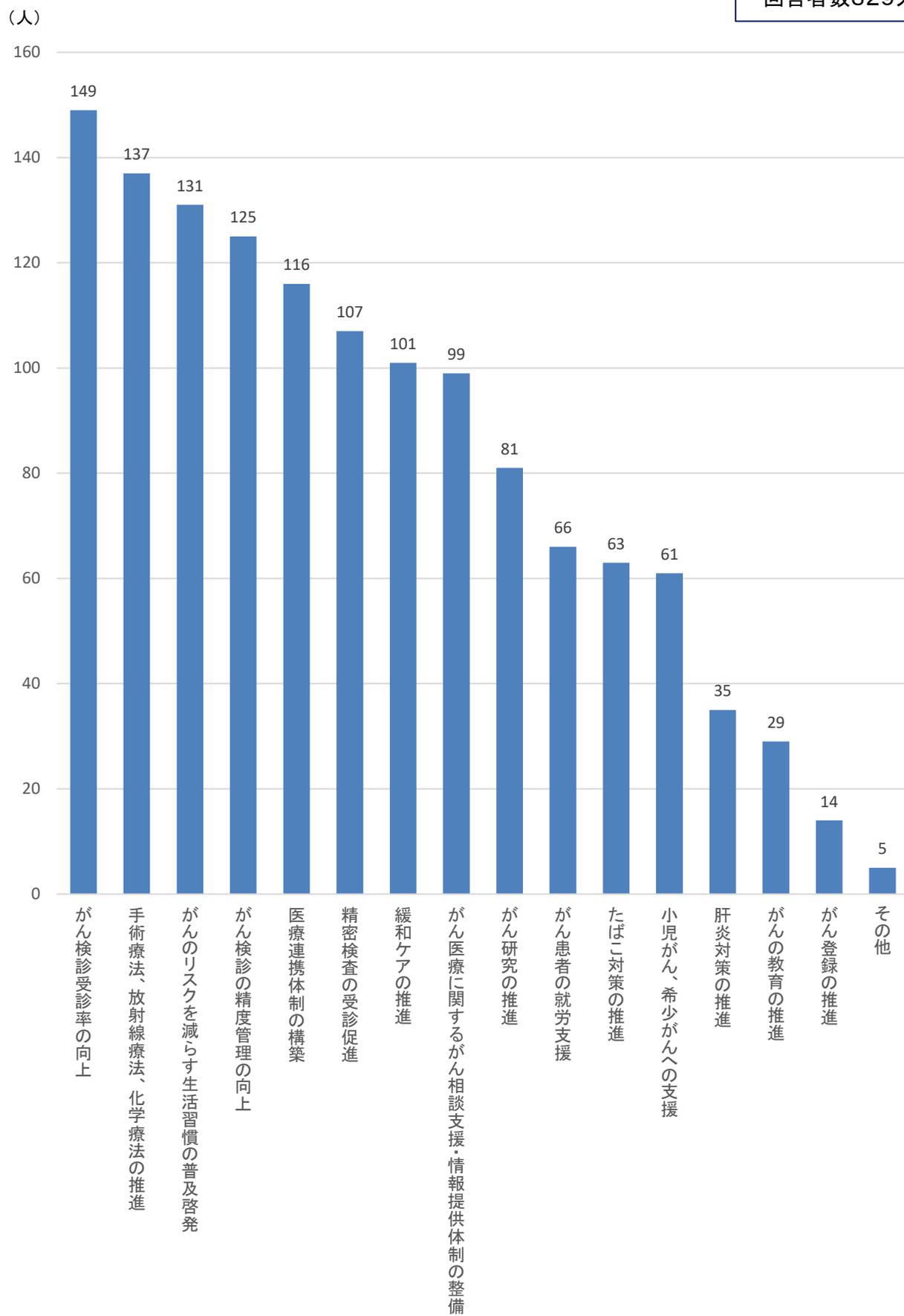
(人)

回答者数329人



問24 あなたは、がん対策について、県にどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。
(複数回答可)

回答者数329人



問25 その他、本県のがん対策に関してのご意見や、要望などがありましたらご記入ください。
(自由記載)

<がんに関する知識/普及啓発について>

- ・私自身ガン対策について知識がなくわからないことばかりです。若い人たちはガン対策について知らないことが多いのかなと感じます。もっと色々な世代の人がガン対策について知れる機会があればいいと思います。
- ・がんは、遺伝、家系的な問題だと思っている人が多いと思います。私もそうだと思ってます。生活で予防できるとしたら、具体的にどうい生活が心がけたらよいか分かれれば、予防していこうという気持ちも芽生えると思います。それと並行して、がん治療費は、かなり高額だということを、知らない人も多いと思うので、具体的な数字が分かると、自分の体かも知らないけれど、周囲の人達にも影響してくるかも…思えば、自分の健康意識も高まるのではないのでしょうか？
- ・直面していないので実感というか、よくわからないことが多い(ガンについての知識ではなく、ガンになったらということについてです)。漠然と、莫大なお金がかかる、治らない、治っても再発する、死が近い、治療が辛さを伴うetc…。まあ…いいイメージはありませんよね。なので、そういう支援みたいのがあるならどんどん広報すべきだと思うし、検診の機会も増えるといいと思う。何かきっかけがないとやっぱり検診受けようとは思わないし、私は自営業なので会社の検診とかもありませんし、なかなかがん検診受けようと思う機会がありません。
- ・条例のことは全く存じ上げませんでした。
この条例に限らず、県で掲げているものはもっと県民に啓発したほうがいいと思います。
- ・がん治療は部位症状により治療方法があるようで。最適な治療の場合には、費用が高く治療を思い留まる場合や、また情報不足でがん治療をあきらめている場合など、公的支援の活用でがん治療に役立ててもらおうよう情報提供が重要と思われれます。
- ・きめ細かく情報提供するには、自治体や各世帯単位、個人への広報(広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページ)で家族で情報共有できる(話題になるような)ことが重要と思われれます。
- ・ガンリ患に対する恐怖心よりも、抑止方法や早期発見での安心感を身近に感じられると検査までの距離感が縮まるように感じます。
経験者ともふれあいや生の声を聴く機会も欲しいです。定期健診受診につながり医療費も抑えられます。
- ・私も含め、【自分のがんにはならないだろう】と思う人が多いのではないかと感じました。ですが、誰もかなりうるもの認識を変えて、もしなった場合でも早期発見できるよう、検診に対するハードルの高さ(痛みや費用等)を下げられるよう補助金や周知をしていただきたいと思います。
- ・がん対策について県として体制強化しているのであれば、当事者やその家族のみでなく、もっと一般的な広報誌などで相談センター設置や金銭的な支援制度について広く周知していくべきではないだろうか。またがん研究については具体的にどのように進んでいるのか広く一般に公表していくべきだと考える。
- ・県で行なう「ガン対策」をもっとPRしてよいのでは？
- ・がんの早期発見や治療などに関する医療情報の提供をもっと発信して欲しいです。
- ・実際に周りにがんになっている人があまりいないので、自分事としてなかなか考える機会がなかった。
職場等ではがん対策のとりくみを聞ける機会があると良いと思う。
- ・がん=死ではない
治療は楽しく、生きる楽しさを重点に
- ・アンケートの中で色々知れて有難く感じました。

<がん検診について>

- ・国が決めた事かもしれませんが町からの子宮がん検診受診票が2年に1回しかもらえなくなりました。迷いましたがやはり早期発見を考えて今年はずり自費で受けました。金額を伝えるとそれなら2年に1回でいいかな、という友人もいました。毎年いただけるととても助かりますが、そうはいかないのでしょうか。
- ・若者ががんになった場合進行がかなり早いことを最近知りました。ですががん検診は基本40、50歳以上になってからの検診が多いように思います。20代がメインで受けられるがん検診があるといいなと思います。
- ・予約が取りやすかったら、もっと増えると思う。
- ・娘、妹が癌になりましたが、幸い手術で後遺症も、今のところ無く、再発がなくて過ごしています。
私も、もっと癌に対する知識を持たなくてはと思います。が、「いかに早く見つけるか」が大事??と思ってます。娘と「見つけては取る」と癌体質なのかもしれません。
- ・受けられるのなら、毎年受けたい…(がん検診)でもお金が…
- ・誰もが先進医療を受けられる健康診断の実施
- ・検診受診率を向上し早期発見や治療の課題を大切にしてください

- ・日頃、ご苦労様です。
私は人間ドックを自主的に受けており健康に気をつけています。
でも、なかには障害がある為に市町村の健診も受けられない方がいると思います。そんな方たちは近くの病院でうけられるようになるといいと思うのですが…(健診場所が遠いとか)
もしかしたら手だてがあって私が知らないのかも知れません。そうでしたらすみませんです。
- ・現体制では無理だと思うが、ぜひ体制を変えて、以下のことを実現していただきたいです。
→市町村単位ではなく、県全体として、健康保険の料金(税)を考えたり、それによる健診やがん検診の内容を統一して欲しいです。(市町村により、受けられる内容や料金がちがうため)
それによって料金が高いので受けられないという人も受診できるようになり、病気の予防ができて、保険料の引き下げにつながっていく可能性があるのではないかと思います。
また、がん検診も、基本健診の料金の中に含めて(基本の料金を上げて)、¥0で受診できるようにすると、受診する人が増えるのでは？以前住んでいたところは、基本(特定)はすこし高めだったけど、がん検診が¥0だったので、「受けなきゃ損」という気持ちになりました。
山梨県は80万人なので、まとめて(県として)やってみるといのはやりやすいかも…と思いますが——(人口が多すぎず少なすぎずなので)

<がんの治療について>

- ・そもそも病院の数が少ない、ということは治療の選択肢も少ない。いざ自分が患者になった時、果たして納得のいく治療が県内で受けられるのか。不安でしかない。
- ・最新、最善の医療を提供していただきたい。
- ・「手術をするなら東京の病院でなければだめだ。」とよく聞きます。優れた知識、技術を持った手術執刀医の確保を望みます。
- ・がんで治療を、受けた後のフォローアップを徹底していただきたい。再発したり、転移したりしている方がかなりいて、その後が、気になる。
- ・がんに実際になった経験から治療費が高額となる。入院中の食事、雑費等は、健康保険の適用外となり、高額となる。
- ・孫が小児がんのため、いつも心からすっきりしている日々ではありません。どうしても東京のガンセンター通院となり、家族の負担も大変です。山梨県内ではむずかしいのでしょうか。
- ・県内で専門性の高い治療ができるように、体制の整備を進めてほしいと思います。
- ・山梨県立ガンセンターの開設、研究センターの設置
- ・がんではないかと疑う兆候としてどんなものがあるか、県広報等で紹介していただき、早期相談、診断(受診)、治療に進むことができると思われます。
- ・ドックや主治医にかかりつけになっていて、先生自ら検査しているので任せています！
- ・末期がんの人たちが、ホスピス緩和医療を受けられる場所が必要だと思います。医療を選べる、人間の尊厳死を選べればと思います。
- ・山梨県は色々遅れていると思います。誤診も多く、母は県外の病院で検査、治療を受けていました。
- ・ガン専門病院があれば良いと思う
- ・がんと聞くと不安が大きく気軽に受診できる医療機関
- ・特定の病院だけではなく、どこでもがんの治療や相談ができて、費用の心配もなくて良いようにできたら良いと思
- ・音楽療法、丸山修寛先生のような治療が体に安全だと思います。これからの時代はこれだと思います。
- ・立地上医療機関の選択として国中地方より静岡県側での受診機会が多いことや、静岡県東部にがんセンターもあることから、がん対策に関しても何らかの形で越県で連携してはどうか。

<がんの予防について>

- ・がんは普通の免疫力があれば自然消滅することがほとんどで、自己免疫を上げる政策を実施することが一番のがん予防だと思っています。
- ・患者になってからの対策よりも、がんの原因になるストレスを緩和するために労働環境の改善や経済的な支援を進めることが先ではないかと思う。

<患者・家族への支援について>

- ・ がんになった時にいろいろな方面の相談にのってもらえることを知りましたが自分が今のところがんの心配がないのでそちらの方にアンテナが向いてないのはたしかですが大なり小なり身内にがん告知がありそれが年齢てきに働き手の主人だったりまだ子供が小さいときの母としての自分だったりするといろんな助けを求めるでしょうね。体調が悪いときにそこまで気がまわるでしょうか。なんらかでいつかは命がなくなるのはわかっていますが病気になるのは回りの力を借りたり回りに迷惑をどうしてもかけてしまいます。健康で体力があるうちに誰かの力になればと思います
- ・ ガン患者への支援をして欲しい
- ・ ガンで祖母を亡くしたばかりなので考えるのが辛い。残された家族のメンタルケアも検討してほしい。
- ・ がん保険には多少入っていますが、完全ではなく、もしがんになったら不安に感じることもあり、県では、そのような援助があるのかも??わからない。
もしあるなら広げてもらいたいし、ないようならそのようなシステム充実してほしい。
- ・ がんと告知されて、治療中の人に、どう声かけて良いかわかりません。
他人にあまり知られたくないと思うのですが……
自分では気をつけているつもりですが、普通にしているのが一番、と暮らしています。
- ・ 困ったら何々のように、兎に角相談できる、専門外来の充実を希望します。